



みすずかる

須坂小学校学校だより

TEL : 026-245-0071

NO. 6

令和3.12.24発行

2学期85日間が終わります。新型コロナウイルス感染症第5波のさなか実施した運動会は、低学年、高学年の二部構成で実施。昨年度よりもさらに制限された中ではありましたが、100%の力を出す子どもたちの姿に元気をいっぱいもらいました。秋が深まるにつれ、第5波が収束し、少しずつではありますが、感染症予防に対応しながら、大人数での交流ができるようになってきました。12月、業間休みの時間に児童会が「全校じゃんけん列車」を企画してくれました。大勢が連なって楽しむ活動は、今年度初めてです。学校にとって当たり前の風景だったこれらの活動ができることを、心よりうれしく思います。2学期の様子を振り返ってみます。



全校で集える喜び

正しい箸の使い方2年 10月14日

毎日使う鉛筆や箸。正しい持ち方を子どもたちは十分に分かってはいます。しかし、自分の持ちやすい持ち方が定着しているがために、なかなか自分から正しく持たないことが見受けられます。そこで、正しい箸の持ち方のよさを感じられるように、給食センターの栄養管理から食育指導までされている栄養教諭の降籬優希先生に、箸の持ち方について2年生に指導していただきました。正しい箸の持ち方を習った後、早速いろいろなものを箸でつかみました。一番大変だったのは、小さなお豆。悪戦苦闘しているうちにこつをつかみ、ひたすら豆つかみに没頭し、箸の持ち方を習得していました。



消防署社会見学3年 11月25日

社会「くらしを守る」単元で須坂消防署へ見学に行ってきました。間近で救急車やはしご車等消防署にある車の役割や仕組みをみて、興奮気味に見て聞いてメモをとる子どもたち。消防署の方の説明も真剣に聞いていました。火事で出動するときの早着替えの実演もしていただき、その早さに感嘆の声をあげていました。消防署内部にも潜入させていただき、興味津々で様々な部屋の様子を観察していました。

最後にポンプ車の放水を全員が体験。勢いよく出る水をみて、消防署の方が、私たちのくらしを守ってくれていることを実感することができました。



新しい形「くめぎの時間」

昨年度より、総合的な学習の時間を、新しい学習指導要領にそった形に活動していくため、それまで行っていた縦割りによる活動から、学年学級の活動にシフトしてきました。4年生は、中庭での活動を5月下旬よりスタートさせ、今に至っています。自分たちがやりたいことをゼロから作り出す活動が、少しずつ形になってきました。

花壇作りに没頭する子ども、ブランコを作り、ハンモック、木を使ったおもちゃ作り…、トイレを作った子どももいます。1学期はのこぎり、かなづち、スコップなどの道具をぎこちない体の動きで一生懸命操ろうとしていた子どもたちでしたが、今ではそれらの道具も体の一部となっているかのように使いこなしています。子どもたちの主体性を大事にしながら活動を進めていくと、自分から必要なものを用意し、人と関わり、活動をどんどん進めていきます。

試行錯誤しながら活動を進めていくことで、それらを乗り越えたときの子どもたちの達成感は大きいものです。これからも子どもの主体性を大事にしたくめぎの時間を作り出していきたいと思います。



鼓笛ファイナルコンサート6年 12月2日

50年以上の伝統がある鼓笛隊。今年度も6年生が5年生の12月から一年間活動が続けてきた成果をファイナルコンサートで発表しました。

コロナ禍により1学期は学校内で音を出すことさえもできない日が多くありました。運動会の時期は、多目的教室に分かれてパート毎で練習する日々。校庭に出てやっと全員がそろって音を合わせられました。その時に初めて6年生の鼓笛を耳にできた児童も多かったでしょう。屋外に出ていた常盤中の生徒さんもその場で6年生が奏でる響きに体を止め聴き入っていました。須坂東高校の生徒さんも校庭から聞こえる演奏を聴きながら、小学校の運動会を懐かしんでいたということを知りました。6年生の作り出した魂の音楽を通して、心を癒やされ和んだ人が多かったと思います。ファイナルコンサートは二年ぶりに須坂小全校児童と支援学校児童、6年生児童の保護者の皆様が一堂に会して、演奏を鑑賞しました。心に響く演奏の途中で寸劇あり、楽器紹介ありの楽しいプログラムを企画した6年生。私たちの心にずっと残るステージでした。

ファイナルコンサートが終了した約2週間後の12月14日、6年生は、5年生に楽器を引き継ぎました。6年生は自分たちがやってきたことを伝え、5年生は代々6年生が繋いできた伝統を受け、スタートしました。



寸劇ありの楽しいコンサート



楽器を受け渡す6年生

オンライン社会見学5年 12月18日

コロナ禍により社会見学も思うように計画ができない中、企業のご努力で新しい形の社会見学が実現しました。

5年生は工業の学習で、日産自動車栃木工場の見学をオンラインで実施することができました。5年生は自動車工場の調査員に任命され、主に組み立て工場に潜入。自動車ができるまでの画像から、努力や工夫を感じとっていました。わかりやすい説明と楽しいクイズに挑戦しながら学ぶプログラムは、いつの間にか現地にいて学んだ気持ちとなりました。子どもたちの質問にも答えていただき、オンラインでもできる見学のよさを体感することができました。



ジェスチャーで答える三択クイズ

読書旬間 12月1日~12月14日

12月に入り、全校で読書に取り組む旬間がありました。本校は、学校図書館の利用だけでなく、隣に市立須坂図書館があり、気軽に本を借りられる環境があります。須坂図書館とは読書活動や図書館教育が推進しているように連携しています。高学年は調べ学習等で、低学年は、本を借りるに須坂図書館を利用させていただいています。

旬間中に1年生は、「さるとかに」や「けちんぼおおかみ」のお話のお気に入り場面を絵に描きました。お話の世界に入り込み、楽しく描いた様子が目に浮かびました。



お話の場面を想像して

昇降口で子どもたちを迎えたある日のこと、中学年の子どもが挨拶代わりに話しかけてきました。「ねえ、先生。コロナになっちゃって大変なことばかり。やりたくてもできないことがいっぱいなんだけど、コロナのおかげでいいこともあったよ。それはね。必ず手を洗えるようになったこと。今までは洗わないことあったんだよねえ。洗った時もさあ、面倒くさいから石けんで洗ってなかったんだ。今はしっかり洗えるもん」子どもたちはどんな状況下でも前向きです。その言葉にがんばる勇気をもらいました。



手洗いが生活の一部に

<お願い>

- タブレットは、学用品としてお家に持ち帰っています。使い方について、ご家庭でもお子さんと話し合い確認していただき、違う目的で使うことがないようにお願いします。
- 12月29日(水)~1月3日(月)まで学校は無人化になります。緊急時は、須坂市役所【245-1400】にご連絡ください。